

税理士情報ネットワーク

TAINNS

Tax Accountant Information Network System



TAINNSの税理士業務での利用

谷 信洋〔麻布〕

はじめに

税理士業務を行う上では、いろいろな疑問点が出てきます。現在のTAINNSはシステムの改善を重ね使いやすいものとなっています。今回はTAINNSの収録内容から、その利用についてみていきましょう。

1 TAINNSシステムの変遷

TAINNSは、昭和57年12月にスタートした相続税法データベースを収録したシステムを初代として、平成8年8月には電話回線によるパソコン通信方式を採用した第二代、平成12年6月にはインターネットによる検索を可能とした第三代、平成20年12月から現在の方式による第四代、平成25年12月を更新予定として現在検討中の第五世代に区分できます。現在のシステムでは、画像や図表も表示されますので、第三代以前と比較して大変便利になっています。

2 TAINNSの収録情報を知る

TAINNSの中には、判決、裁決、通達、相談事例、税務雑誌目次検索その他、日本法令との提携による法令書式・ビジネス文書が収録されています。TAINNSに未加入の会員は、毎月ホームページ

(<http://www.zetishi.gr.jp/bbs1/bbs.html>)に掲載され

る「収録済み最新判決・裁決のお知らせ」や、この東京税理士界の解体新書で最近の収録情報の一部を知ることができます。

また、公益財団法人日本税務研究センターの機関紙「税研」の中に「TAINNS推薦判例」が隔月で4件、株式会社きょうせいの月刊「税理」の中には「判決インフォメーション」としてTAINNS収録の判決が毎月2件紹介されています。

TAINNSの経緯や詳細な収録内容を知るには、ホームページ上に「税法データベース検索マニュアル」が公開

(<http://www.zetishi.gr.jp/TAINNSmanual2011.pdf>)されていますので是非ご覧ください。会員になった場合は、毎週木曜日に配信される「メールニュース」を受信することができます。また、毎月発行される「TAINNSだより」をWEBで閲覧でき、希望者には紙媒体でも送付されます。メールニュースは、最近の判決・裁決が今週の判決等として税法データベースのコンテンツ編集者によって紹介されています。TAINNSだよりに、税法データベースの編集者による「税法データベース活用」と利用者側からの「私のTAINNS利用法」が掲載されていますので、便利な利用法を知るには最適です。

3 通達区分に収録された情報

TAINNSには、判決や裁決

の他に、国税庁が調査担当者のためにまとめた「重要判決情報」、東京国税局が統括官等の事務に役立てるために発信している「調査に生かす判決情報」、「調査に生かす裁決事例等」等も情報公開法第9条第1項による開示情報として「税区分」その他の「検索範囲」に収録されています。

調査に生かす判決情報 [ued/005](http://www.zetishi.gr.jp/ued/005)には、判決文利用の注意点として、長い判決文の場合、最低限の部分を読むのかという項目では、「判決文の構成は「主文」、「事実及び理由（最高裁の場合は「理由）」からなるので、まず「主文」を見て、原告（または控訴人、上诉人等）の請求が棄却されたのか、行政庁の処分が取り消されたのかを確認し、次に、事件の概要が頭に入っているならば、「事実及び理由」の最後の方の「第3 当裁判所の判断」を探して、そこを読みましよう。」というように丁寧に解説されています。

この解体新書にも第2回目の掲載に、正木洋子税理士が「判決書の構成」やTAINNSの一次情報は判決要旨に当たるものであることなどを説明しています。判決文の構成や読み方は行政側にも税理士側にも重要であることが分かります。解体新書のバックナンバーは、左記にありますので参照してください。
https://www.tokyozeishihik.ai.or.jp/pdf/08_may_03.pdf

4 いろいろな検索方法

TAINNSの検索方法は、5種類用意されていますので、初めての方から、執筆などで厳密にデータを抽出したい場合まで、自分に合った方法での検索が可能です。

(1) 一般検索

TAINNSの税法データベースの特徴として、判決や裁決などの収録に際して、その内容から抽出した漢字キーワードと法令コード（法令キーワード）を付けています。漢字キーワードは、例えば税理士というキーワードの場合、完全一致（税理士）、前方一致（税理士業、税理士制度）、後方一致（関与税理士、補佐人税理士）、部分一致（東京税理士会）等を使って詳細に検索することができます。

なお、キーワードは5つ組み合わせることができ、更に厳密な検索も可能です。判決・裁決に付けられた法令コードが分かっている場合は、ダイレクトな検索もできます。

(2) 全文検索

全文検索は、タイトル、一次情報（概要）、二次情報（本文）の区分ごとに検索のために入力した任意の文字で検索する一般的な検索方法です。

(3) キーワード抽出検索

最初に50音一覧表から漢字キーワードを検索し、抽出した漢字キーワードにより、条件に一致するデータの検索を行います。漢字キーワードが思いつかない場合にも類推して利用できます。

(4) データベース登録期間検索

この検索は、収録期間を絞って検索するものですから、4月に収録されたもの、5月に収録されたものというように、最新の収録情報を得ることができます。毎週又は毎月、新着データをチェックしている人に重宝されています。

(5) フリーワード検索

インターネットのYahooやGoogleの検索に近い方法で、税区分や検索範囲を設定しなくても検索できる方法です。

5 税務雑誌目次検索

税法データベースの検索結果と判決・裁決年月日でリンクした税務雑誌目次検索は、税理・税経通信・税務弘報・月刊税務事例・国税速報・週刊税務通信・税研・税務事例研究、速報税理・T&A Masterの目次を収録しており、年号・雑誌名・掲載頁・肩書・著者名・タイトル・判決年月日等により、検索することができます。

この雑誌目次検索システムは、税法データベースの判決や裁決データと判決等の年月日をキーワードとして連動しているため、逆引きが可能となり、各雑誌の掲載記事や判例評釈等を探す際にも便利になっています。

おわりに

平成23年4月から、TAINNSは一般社団法人日税連税法データベースにより運営されています。会費及び利用料も月額2,000円に値下げされ入会は1か月単位のため1か月のみの利用も可能になっています。来る5月22日には初級編、6月21日には中級編のTAINNS有効活用セミナーが東京税理士会館において、10時から13時まで開催されます。TAINNSには、どんな情報が収録されているのかを、是非このセミナーに参加して実際に確かめてください。

収録内容に関するお問合せはデータベース編集室
03-5496-1416

会計事務所には、 会計事務所の ERPがある!

会計事務所の経営基盤として、
CRMの考え方に基いた最強のERPシステム
ACELINK NX-Pro。



ACELINK NX-Pro
"事務所経営の最適化"を支援する会計事務所版ERPシステムです。
製品名のNXは「NEXT(次世代)」、Proは「Professional(専門家)」の略であり、次世代の会計事務所を強力に支援することを意味します。
●ACELINK NX-Proは株式会社ミロク情報サービスの商標又は登録商標です。

顧問先と会計事務所のNextへ

中規模企業向けERP売上3年連続No.1*を誇るMJSが、
会計事務所向けに総力を結集した最強のプロフェッショナル・ツール。

ACELINK NX-Proは、事務所管理システムを中心に、関連するあらゆる情報の一貫管理を実現する統合管理ERPシステム。蓄積された顧問先情報を分析・活用することで、事務所経営の最適化が図れます。次世代会計事務所システムとして、MJSが会計システムやERPの技術とノウハウのすべてを注ぎ込んだ会計プロフェッショナルのための最強ツールです。

*ミック経済研究所「基幹業務パッケージソフトの市場展望2010年版」より。
年商5~50億円の中規模企業におけるERPシステムの出荷金額ベース。

会計事務所向けERPシステム ACELINK NX-Pro

(今までの業務スタイルを変えることなく導入。)
ここにもMJSならではの経験と技術。

詳しくは今すぐ

ACELINK NX-Pro 検索



MJS

株式会社ミロク情報サービス
東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 48 階 〒163-0648
TEL.03-5326-0381 FAX.03-3343-5789

発売以来
称賛の声!